

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第 21 巻第 3 号 (通巻 62 号)

2017 年 12 月 12 日

音韻論フォーラム 2017 報告

去る 8 月 23 日(水)~25 日(金), 首都大学東京・南大沢キャンパスにて, 音韻論フォーラム 2017 が開催されました。

カナダよりの招聘ゲスト、Keren Rice 先生 (University of Toronto), Elan Drescher 先生 (University of Toronto) による基調講演, そして韓国音韻論・形態論学会から本学会との交流で来日された Youngran An 先生 (KC University), Hyebae Yoo 先生 (Incheon National University) による招待講演が行われました。また, 博士号取得者講演 2 件、一般研究発表 9 件も行われました。

3 日間を通して, 合計で 52 名の参加者があり, 質疑応答も活発に行われました。2 日目夜に開かれた懇親会には 34 名の参加者があり, こちらでもゲストを交えての活発な交流がなされました。

会場を提供して下さい, 大会運営に協力していただいた本間猛先生 (首都大学東京), ゲストの招聘にご尽力いただいた平山真奈美先生 (成蹊大学) に改めてお礼申し上げます。また, 期間中に運営の手伝いをして下さいましたスタッフの皆様にもお礼申し上げます。

2018年度春期研究発表会

2018 年度の春期研究発表会は, 2018 年 6 月 22 日 (金) に, 大東文化大学・板橋キャンパスにて開催予定です。同日, 会員総会も行われます。奮ってご参加下さい。プログラム等の詳細は, 4 月末に発行予定のニューズレターでお知らせします。

なお, 6 月 23 日-24 日には, 日本言語学会が東京大学・本郷キャンパスにて開催される予定です。

2018 年度春期研究発表会発表募集

上記の 2018 年度春期研究発表会における研究発表を, 下記の要領で募集します。発表希望の方は奮ってご応募ください。

プログラム等の情報は, 4 月末に発行予定の Newsletter にてお知らせします。

本研究発表会での発表内容は, 一般発表, ワークショップともに編集委員会による査読を経て, 『音韻研究』第 22 号 (2019 年 3 月, 開拓社から刊行予定) に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも, 他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は, 原則として 8 ページです。

<応募要領>

発表 (論文) テーマ: 音韻論・音声学に関するもの, あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語: 日本語または英語。

発表形態: 一般発表またはワークショップ

送付方法: いずれの発表形態の場合も, ①要旨,

②発表者情報を別のシートに記載し, 下記の担当理事宛に送信して下さい。

I. 一般発表の場合

- ①「要旨」には, タイトルと発表要旨のみを記入する (氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2000 字以内, 英語の場合 800 語以内とする。別紙に, 参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には, 氏名, 所属, 発表タイトル, メールアドレス, 住所, 電話番号を記載。

II. ワークショップの場合

- ①「要旨」は, ワークショップ全体に関するものと, 各発表者によるものを用意し代表者を取りまとめ, 一括して送付する。各要旨には, タイトルと発表要旨のみ記入する (氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内, 英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき, 参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には, 発表者全員の氏名, 所属, 発表タイトル, メールアドレス, 住所, 電話番号を記載。代表者に印をつける。

メールで PDF ファイルを送付 (PDF ファイルの作成が不可能な場合は, Word ファイルにて送付)。PDF ファイルで投稿できない場合は, 事前に担当理事にご連絡下さい。

書式: A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り: 2018 年 3 月 31 日(金)

送付先: 桑本裕二 (春期研究発表会担当理事)

kuwamoto@kankyo-u.ac.jp

(メールでの送信が不可能な場合は以下に送付)

〒689-1111 鳥取市若葉台北 1-1-1 公立鳥取環境大学 桑本裕二 [【春期研究発表会書類送付】と赤で表書下さい]。

書式を守っていない, あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので, ご注意下さい。4 月中旬に, 発表の可否を通知予定です。

音韻論フォーラム 2018 予告

2018 年度も, 以下の要領で音韻論フォーラムが開催される予定です。

期日: 2018 年 8 月 27 日 (月) ~29 日 (水)

会場(予定): 名古屋大学・東山キャンパス

研究発表の募集など詳細につきましては、4月末に発行予定の Newsletter で、改めてお知らせいたします。

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、フォーラムや研究発表会の遠隔地からの発表者で、かつ、非有職者（学生や非常勤講師等）を対象に旅費の補助を行います（一人上限2万円（国内）、5万円（海外））。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表に応募して下さい。

監事の就任について

2017年度よりの学会監事として那須昭夫氏（筑波大学）が理事会より推薦され、就任していただくことになりましたので、会員の皆様にご報告いたします。

同氏には適切な学会運営の監督・確認を行っていただきます。在任期間は4年（2020年度まで）です。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、『20周年記念論文集』（2016）や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係
〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル4F
電話：03-5842-8900 Fax：03-5842-5560
<http://www.kaitakusha.co.jp>

『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほかに、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購読をお願いいたします。

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

Eメール末尾もしくは封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち6,7は、それぞれ2016,2017の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費

納入済みであること、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*7[5t]」と印字されていれば、2017年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込：

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会

年会費：

維持会員：10,000円

一般会員：5,000円

学生会員：4,000円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

住所等変更通知と確認のお願い

会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず事務局会計・坂本にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずお知らせ下さい。また、Eメールも常時使用のものをお知らせ下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』などの配布物が正しく配送されませんので、くれぐれもご注意のほどお願いいたします。

日本音韻論学会事務局

【事務局長（学会所在地）】
西村 康平（いわき明星大学）
〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野5-5-1
いわき明星大学 教養学部
TEL：0246-29-7196（直通）
E-mail: kohei.nishimura[AT]iwakimu.ac.jp

【会計】
坂本 洋子（獨協医科大学）
〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880
獨協医科大学医学部 語学・人文教育部門
TEL：0282-87-2481(代表)
E-mail: y-saka[AT]dokkyomed.ac.jp

※上記 [AT] の部分を、@に変えてください。